

**繊維補強セメント系複合材料の新しい利用法研究委員会（JCI-TC-104A）**  
**第6回委員会議事録案**

日 時：平成23年12月14日（水）15:00～17:30

場 所：JCI会議室

出席者：金子，国枝，金久保，栗橋，浅井，網野，石原，伊藤，小川，斯波，諏訪田，長井，  
永井，堀口，前田（徳），前田（信），室賀，山野辺，渡辺，浅野，JCI井上

欠席者：磯，岩波，菊田，瀬古，塩永，平田（敬称略）

資 料：

- 6-1 第6回委員会議事次第
- 6-2 第5回委員会議事録案
- 6-3 委員会ロードマップ
- 6-4 WG1に関する目次原案
- 6-5-1 第4回WG2議事録案
- 6-5-2 第5回WG2議事録案
- 6-5-3 WG2 報告書目次案
- 6-6-1 WG3 報告書の内容
- 6-6-2 繊維補強コンクリートの破碎実験
- 6-6-3 利用法のアイデア
- 6-7 論文募集

議 事：

1. 委員長挨拶

金子委員長より，開会の挨拶があった。

2. 議事録の確認

第5回全体委員会の議事録案が確認された。

3. WG 報告

各WG主査から，WGの活動報告がなされた。活動報告および審議の主な内容は以下のとおり。

<WG1 新しい利用法>

- ・報告書の内容案については，基本的に了承された。
- ・文献データの公表方法について，検索機能などを充実させるためにデジタルデータでの提供を希望している。CD-ROMにするかなど，具体的な形式については報告書作成時の予算等に応じて検討する。
- ・新しい利用法の整理の切り口としては，①長期耐久性，②環境負荷低減，③現状の問題点，④新しい材料開発，を予定している。なお，WG2 および WG3 との内容の重複および調整は，1月の幹事会時に再検討する。
- ・解析手法などのキーワードからの新しい展開があるのではないか？
- ・比較対象がコンクリートである必要はなく，例えば鋼材やFRPなどで実現できない部位，部材なども想定すると良い。
- ・コスト比較の具体的な事例があると良い。
- ・適用事例のフォーマットを各委員に送付し，情報収集を各委員に依頼する。

#### <WG2 性能評価>

- ・報告書の内容案については、基本的に了承された。ただし、せん断の内容の位置については、架橋則のモードⅠおよびモードⅡの取扱い、位置づけの整理も踏まえて再考する。
- ・クリープ、繰返しなどのデータを引き続き収集する。

#### <WG3 環境対応>

- ・FRCの一連のライフサイクルの中で、普通コンクリートよりも環境インパクトが大きくなる材料調達および廃棄の部分に着目した情報提供を目標とする。
- ・具体的には、①繊維自身が環境に与えるインパクト、②環境対応を考慮した新しい利用法、③FRCの破砕時の環境負荷、の3つの観点での報告書を予定している。目次案については、年明けまでに確定する予定である。
- ・FRCの破砕実験の速報が報告された。少なくとも普通コンクリートと鋼繊維補強コンクリート(1%)では、排出されるガラが大きさが異なる結果となった。

第4回全体委員会後に作成されたロードマップ(資料6-3)も、内容の具体化にあわせて逐次更新していくこととなった。その他、報告書の内容等について、以下のような意見が出された。

- ・報告書においては、材料の定義を再掲示した方が良い。以前のJCIの定義を参考にするが、当該研究委員会の新規性として、時間軸を考慮した図が描けると良い。
- ・用語の定義だけでなく、使用材料などの特徴から分類されたものがあると良い。また、JCI井上氏より、報告書の執筆要領を配信してもらおうこととした。

#### 4. 成果報告の方法

成果報告は、シンポジウム形式とし、一般の方からの論文募集を想定することとした。開催日の候補は平成24年9月20日(木)東大生産技術研究所内を第1候補とした。

#### 5. 次回開催予定

メールにて日程調整を行う。基本スケジュールは以下のとおり。

- ・1月に幹事会を開催
- ・3月に全体委員会
- ・9月20日にシンポジウム

以上